

県生協連 NEWS

●発行：徳島県生活協同組合連合会

●発行日：2022年1月21日 (No.26)

●住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤の内30-3

●TEL：088-698-0505

●HP：<http://tokushima.kenren-coop.jp/>



『徳島健生病院（南東側より）』

徳島健生病院の新病棟がオープンし、今まで以上に、わたしたちの願いである「一人ひとりが人間として尊重される社会をめざし、様々な人々と手をつなぎあい、保健・医療・介護の事業と運動を通して、健康で明るい地域をつくることです」を実現できるように努めています。

目次

- p1 新年のごあいさつ（徳島県生活協同組合連合会：会長 大久保 秀幸）
- p2 会員報告 徳島県学校生活協同組合
- p3 会員報告 徳島県共済生活協同組合、徳島大学生生活協同組合
- p4 会員報告 徳島県職員生活協同組合
- p5 会員報告 生活協同組合コープ自然派しこく
- p6 会員報告 生活協同組合とくしま生協
- p7 会員報告 徳島健康生活協同組合



新春のご挨拶

徳島県生活協同組合連合会 会長 大久保 秀幸

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

平素より、会員生協の皆さまには、連合会の活動にご支援ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。日本人アスリートの目覚ましい活躍をはじめ世界中の人々が熱狂した年でした。一方でオリンピック、パラリンピックと並行するように新型コロナウイルスの感染拡大が広がり、外出自粛要請、経済・雇用の不安化、働き方改革など社会のシステム、人々の暮らしにも大きな影を及ぼすこととなりました。

また、はっきりとした報道はされていませんが、オリンピック、パラリンピックが閉幕し人流の抑制や様々な自粛を一人ひとりが守っていることやワクチン接種が進んだことにより感染者数は大きく減少しました。そうした中で、消費者を取り巻く環境は、コロナ禍の中での節約志向や昨年10月以降様々な食品の値上げや原油価格の高騰により、燃料をはじめ包装資材などが値上がりし、暮らしを取り巻く環境は、益々厳しさが増していくことが考えられます。

そういった中、私たち協同組合は、農林水産業、購買、金融、共済、就労創出、福祉、医療、旅行、住宅など多岐にわたり、生活文化向上のため共通の目的をもったものが集まった組織です。

また、毎年7月第1土曜日は、世界の協同組合が協同組合の発展を祝い、さらなる前進を誓い合う日を「世界国際協同組合デー」としています。今年の7月2日の第1土曜日が100回目の国際協同組合デーの記念日となります。

今こそ、それぞれの強みを発揮して柔軟に力を合わせることで、暮らしへの役立ちを強め、地域に欠かせない協同組合としての役割をしっかりと果たしていくことが大切です。よりよい暮らし実現のため皆さまと今まで以上に連携しながら益々発展できる年にしていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



【特定非営利法人 ワーカーズコープ 酒井本部長様による労働者協同組合法学学習会】

○徳島県学校生活協同組合

〒779-323 名西郡石井町石井字石井 1845-1

TEL088-679-1357 FAX 088-675-1315

ホームページ <http://www.tokugaku.jp>

理事長 野々村拓也 常務理事 須之内 学

組合員数 8,869人 事業高 6800万円

～学校生協 浸透化～

新年あけましておめでとうございます。

昨年6月に野々村理事長、須之内常務理事が就任し、新たな体制で経営に取り組み、半年が経過しました。2020年度はコロナ禍のため、年度当初の臨時休校や夏休みの短縮などがあり、学校現場を訪問して組合員の皆様と直接お話しできる時間が少なくなりました。そして、社会全体にソーシャルディスタンスやWEB会議など、新しい生活様式が求められるようになりました。こんな時こそ、「学校生協は組合員の皆様の近くにいたい」と思いました。そこで、2021年度は、「学校生協 浸透化」を掲げ、「組合員のための役立つ学校生協」「組合員の信頼と安心を高める事業展開と情報発信」に向けて、組合員の約75%が登録されているWEBシステム「マイページ」を活用して取り組んでいます。

具体的には、事務所に初めて来られた方から「事務所の場所が分かりにくい」とのご意見を伺い、大きな看板を設置しました。



[看板設置]

また、各学校へ配付していた「学校生協だより」を、目に付きやすいように工夫しました。さらに、新規事業として、「新車購入キャンペーン」

や「車検割引制度」を始めました。「新車購入キャンペーン」は、これまでの「マイカー購入サポート制度」(5,000円のプレゼント)に加えて、普通車だと15,000円から20,000円、軽自動車だと10,000円から15,000円のプレゼントさせていただくものです。「車検割引制度」では、徳島トヨタのディーラーの車検整備を利用されると、基本料金を10%割り引かせていただきます。これら以外にも、組合員へのアンケートを基に、ハウジング事業での業務協定締結業者を拡大しました。

また、組合員を支援するための福利厚生事業として、「徳島ヴォルティス・チケットプレゼント」や「イチゴ狩り」に加え、「千疋屋のバームクーヘン」や「ロイズのポテトチップス」のプレゼント企画や、健康増進と気分転換を目的としたウォーキング「ぶらり まち歩き」などを実施しました。



[ぶらり まち歩き]

今後も組合員の皆様の要望に応えるような事業を展開していきます。

学校生協では、組合員の皆様にとって身近で満足していただける組織であり続けるため、新たな事業等に積極的に取り組み、経営改善に努めてまいります。

2022年がすべての組合員様にとって良い年になることを祈念いたします。

理事長 野々村拓也

Gakkoseikyo 徳 Gakkoyohin
One for all All for one
since 1950

○徳島県共済生活協同組合

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
TEL088-625-2340 FAX 088-625-2131
ホムンズ [https://www.zenrosai.coop
/contact/zenkoku/tokushima.html](https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/tokushima.html)

●理事長 藤岡一雄 ●専務理事 乾 浩二
●組合員 89,011人 ●事業高 約396億円
新年、明けましておめでとうございます。

徳島県生協連加盟の各役職員、組合員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃のご支援に感謝いたします。

人と人との距離をとる。できるだけ家にいる。大切な人たちとなかなか会えない。ココロが乾いて寂しくなる。新型コロナウイルス感染症の流行と鎮静が繰り返され、自粛や制約の生活のなかで、人々は、小さな動きで大きな喜びが得られる商品やサービスを求めているのではないのでしょうか。

博報堂総研の2022年ヒット予想のキーワードは、『動かす、動かす』です。

①（場所を動かさず、満足を得る）デリバリーサービスやオンラインによる授業・診療・イベント、②（人や組織に合わせず、活動を広げる）無人・非接触サービスや副業、③（手間をかけず、楽しむ）冷凍・レトルト食品、④（構えず、社会に関わる）EV、SDGs、LGBTQやジェンダレスファッション、などが上位を占めているようです。このように、「動かす」（小さな動き、効率的な働きかけで）、「動かす」（大きな充実や喜びを引き出す）商品やサービスが目されています。

一方、デジタルテクノロジーを活用してサービス提供のプロセスを見直し既存のサービスをより優れたものへと変える、デジタルトランスフォーメーション(DX)も急速に進んでいます。

私たちは、「お役立ちDX」として、人とデジタルのハイブリッド型の対面推進により、加入・更新・保全・支払いなどのオンライン手続きを飛躍的に向上させ、「お役立ち」発想と「共創」活動による事業と運動の変革を進めていきます。

地球温暖化の影響とみられる気象災害や大規模災害の多発や新型コロナウイルスとの共存する社会では、リモート方式やオンラインなどを有効に活用した最適な「安心の提供」が求められます。そして、相手に寄り添い思いやることで、はじめて、私たちの思いが伝わります。また、一緒に創り上げていくことで「たすけあいの輪」は広がっていくと確信しています。

本年も引き続き、皆様のご支援をいただけるようお願いします。

理事長 藤岡 一雄

○徳島大学生生活協同組合

〒770-0814 徳島市南常三島1丁目1
TEL088-652-1073 FAX088-626-5811
ホムンズ

<http://ha1.seikyoku.ne.jp/home/tokushima-shop1/>

●理事長 田中 秀治 ●専務理事 神田 斉宣
●組合員 9,664人 ●事業高 10.2億円
あけましておめでとうございます。

私たち徳島大学生協は購買や食堂事業にとどまらず、学生の学びや成長に貢献するため、各種講座や体験事業など、卒業後の豊かな人生に貢献する事業を展開しています。

長期化するコロナ禍により、組合員の生活はさらに深刻度を増しています。出会いや交流の場を得られない状況が続き、お互いに切磋琢磨する本来の大学の姿を知らない学生が約半数に達しています。アルバイトなどの収入も減少しており、経済的にも厳しさを増しています。登校者数が回復しないため、店舗の利用者数は以前の半分近くに減少したままです。徳島大学生

協の経営状況は過去最悪の水準へ転落しており、組合員の組織と財産を守るため奮闘する職員により支えられています。

このような状況を変えようと、秋に「生協誕生祭」と銘打ちイベントを開催しました。1987年11月14日、学生・教職員が手を結び創立総会を開催しお互いに助け合う組織としての生協をつくった歴史を知ってもらい、今を乗り越える力にしてほしいという想いです。店舗でセール・フェアやお菓子配布など、組合員に還元するイベントを約1か月にわたり行ってきました。また利用を高める機会にもしたいと福引抽選会を実施したところ、抽選のため連日長蛇の列ができ、実に4000回を超える抽選参加がありました。



【 福引抽選会 】

特にイベントの中でも話題となったのは、生協学生委員会が主催した「ふれあい動物園」です。ストレスを抱えた学生に動物とのふれあいによる癒しを提供したいと、白鳥動物園よりうさぎやひよこなどたくさんの小動物を誘致しました。5時間ほどの企画でしたが、700名を超える学生が集まりこころ休まる時間になったようです。大学祭などのイベントも中止になる中、わずか数年間しかない大学生活において「大学が楽しい」と感じてもらえる貴重な機会にしてもらえたと思っています。



【 ふれあい動物園 】

2022年こそは学生同士の結びつきを強め、本来の大学のにぎやかさを取り戻し、徳島大学に来てよかったと実感してもらえる環境をつくりたいと思います。引き続き皆様のご支援のほど、よろしくお願いいたします。

今年一年をすばらしい年にできるよう、ともに頑張っていきましょう！

専務理事 神田 齊宜

○徳島県職員生活協同組合

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1(県庁内)
TE 088-621-3061 FAX 088-624-0170

- 組合長 志田 敏郎
- 副組合長 松本 光弘
- 組合員数 3,992人
- 事業高 1.16億円

徳島県職員生活協同組合では、県職員の福利厚生の一翼を担い、組合員に親しまれる生協として、この数年来、売店事業における「新商品の供給・販売」や、食堂事業における「新メニューづくり」など、様々な工夫を重ねています。

昨年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、厳しい経営を余儀なくされる中、県庁万代庁舎11階の食堂における席数の半減、地下1階の売店におけるレジでの飛沫感染防止対策などに取り組みながら、販売促進に努めています。

現在も先行き不透明な経営環境にありますが、食堂においては、関係機関とタイアップした食のフェアを開催しており、8月には、「野菜摂取

量アップ応援フェア」として、「野菜増量メニュー」や「とくしま野菜食べつくしカレー」などの提供を行いました。

さらに、11月には、牟岐町と徳島県南部総合県民局の御協力のもと、県南特産の「伊勢海老・実生ゆず・もち麦」を用いた料理を提供する「牟岐町フェア」を行いました。

具体的には、まず11月1日は、伊勢海老を半分にカットしクリーム系のソースとチーズをふりかけて焼き上げる「伊勢海老テルミドール」と「伊勢海老・イカ・サーモン刺身盛り」を提供しました。

本日のおすすめ 11月1日～5日は「牟岐町フェア」
伊勢海老、実生ゆず、もち麦味噌を使った料理をお楽しみ下さい。
三食を削げるため、座席数を削減中、利用時間帯の分散にご協力ください！

伊勢海老テルミドール 11月1日(月)

【材料】 2人前あたり
伊勢海老 1匹 塩胡椒 少々
薄力粉 7g ニンニク 少々
バター 7g チーズ 40g
牛乳 70g (サラサブレード)
蜂蜜 40g トロピカル 適量
クリームチーズ 20g サニータス 適量
マスタード 少々 チイル、チーズドール 適量
オリーブオイル 適量

伊勢海老を半分にカットし、クリーム系のソースをかけチーズをふりかけて焼きます。お通草の野菜の一品です。

伊勢海老刺身盛り(いか、鮭) 伊勢海老、イカ、鮭と一緒に刺身にしました。わさび醤油で、どうぞ。

【材料】 2人前あたり
伊勢海老 1匹 わさび 少々
イカ 50g 刺身醤油 少々
北海道産 60g 人参 少々
大根 50g
大葉 4枚

三食をさける為、座席数を削減中、利用時間帯の分散にご協力ください。
(電話 621-3063)
徳島県庁生協食堂 県庁舎 11階
営業時間 AM11:00～PM1:30

両品あわせて120食程度ではありましたが、550円の定食メニューとして提供したこともあって、利用者には非常に好評でした。

また、11月2日は「実生ゆず豚塩ちゃんこ鍋」「もち麦味噌ビビンバ」、4日は「実生ゆずオリジナル冷麺」「もち麦味噌麻婆豆腐」、5日は「実生ゆずポテトサラダチーズチキン焼き」「もち麦味噌煮込みハンバーグ」と、地域性や季節性を感じることでできる食材を味わっていただきました。

合わせて、このフェアにおいては、売店でも料理の提供と連動し、実生ゆずともち麦味噌を

ブレンドした「ポンジュレゆう(ポン酢)」「母ちゃんマヨ」のPR・販売も行ったところではあります。

これからも、組合員の利用拡大や継続的利用を目指して、徳島のブランド産品を活かしながら、季節や時の話題に応じた魅力的なイベントを実施していきたいと考えています。

組合長 志田 敏郎

○生活協同組合コープ自然派しこく

〒779-0102 板野郡板野町川端字川敷田 11 番 1
TEL088-624-9200 FAX088-624-9300

ホームページ <http://www.shizenha.ne.jp>

●理事長 泉川かおり ●副理事長 北岡 徹

●組合員数 53,315 人 ●事業高 14.2 億円

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大から約2年が経過し、ようやく日常が戻りつつあります。

この間、食べたものが自分の身体を作り、そして免疫力を高めるなどと食に対してさらに見つめなおすきっかけとなった方も多かったのではないのでしょうか。

また、組合員みなさまの助け合いの心を形にする取り組み。ポイントの寄付で運営する子ども笑顔基金も立ち上がり、四国4県の各地域で活動されているNPOやボランティア団体の協力も得ながら運用をさせていただいております。

昨年は、コープ自然派しこくが合併し10年という節目の年でした。

11月から新板野センターが稼働し、組合員数も55,000人(前年同月比105.8%)を超え、順調に伸長しております。

4次中期計画(2021年～2023年)では

- ・誰もが国産オーガニックを食べられる社会をめざす。
- ・学校給食を国産有機にしよう!
- ・気候変動、プラスチック問題を学び、子どもたちの未来を守ろう!

- ・有機農業を拡げ、持続可能な循環型社会を実現します。

などを目標に掲げており、それに沿って活動していきます。

そして、NPO法人「とくしまコウノトリ基金」と連携し、ピオトープを拡げ巣塔の設置を実現し、コウノトリを育むと取り組みも行っていきます。

安心安全な商品をお届けするのはもちろんですが、様々な活動を拡げ、社会のあらゆる問題に対して、みなさまとともに行動を起こしていく年にしていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

副理事長 北岡 徹

○生活協同組合とくしま生協

〒771-0289 北島町中村字東堤の内 30-3
TEL088-698-0505 FAX088-698-872

ホームページ <http://www.tokushimaseikyuu.or.jp>

- 理事長 大久保 秀幸 ●専務理事 堺谷 信行
- 組合員数 119,762 人 ●事業高 118.5 億円

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は「壬寅(みずのえ・とら)」です。「壬寅」は、「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるということです。

「壬寅」という言葉は、春の胎動が大きく花開くためには、地道な自分磨きを行い、実力を養う必要があるといったことを指し示しています。

干支にあやかって、今一度、地道に自分を磨きをして、いざという時に実力が発揮できるよう努力していく年にしたいと思います。

さて、とくしま生協では組合員さんの暮らしに役立ち・喜んでいただくことを一番大切に事業や活動をすすめています。

その一つの取り組みとして、昨年 11 月にコープ北島をリニューアルオープンいたしました。



【 コープ北島 】

リニューアルオープンをしたコープ北島は、来店される組合員さんが気持ちよく買い物ができるように照明設備の入れ替え、駐車場の整備などを行いました。また、今までコープ北島では加工することができなかったローストビーフやコープ住吉で人気のスイーツの取り扱いをはじめました。新たなテナントとしてベーカリー、リンナがオープンしました。

コープ北島のリニューアルオープンでさらに「鮮度・美味しさ・正直で温もりのある活気あふれるお店」づくりの実現に向けて日々努力してまいります。

また、2022 年度には石井町に新たな支所の建設を予定しており、5 支所体制となります。あらためて宅配部門としての経営改善をすすめ、より収益性の高い経営構造の実現を目指します。

さらに、新支所の建設に伴い、みんなで知恵を出し合い 4 つの魅力ある職場(1.一人ひとりのやりがいや成長を大切にするマネジメント・2.よりよい人間関係が醸成されている・3.残業のない職場・4.よりよい労働条件と労働環境)づくりの実現に向けてさらに磨きをかけていきたいと思ひます。

魅力ある職場づくりを実現することで一人ひとりの組合員さんの立場に立って考え行動し「いつも利用したいと思ってもらえるように、組合員さんの暮らしに役立ち・

喜んでいただくこと」をさらに深化させていきます。

生協に関係するすべて(組合員さん、取引先のみなさん、役職員)のみなさんがとくしま生協が未来に向かって発展、成長していると実感できる年にしてまいります。

以上、今年も「徳島県にとくしま生協があってよかった」と思ってもらえるよう努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

専務理事 堺谷 信行

○徳島健康生活協同組合

〒770-8547 徳島市下助任町4丁目9

TE 088-654-8363 FAX 088-625-0058

ホームページ <http://www2.tcn.ne.jp/~hcoopt/>

●理事長 児嶋誠一 ●専務理事 吉野才治
●組合員 44,176人 ●事業高 41.2億円
新年あけましておめでとうございます。

長年にわたる願いだった徳島健生病院の新病院がちょうど1年前に開院、その後別館(旧東館)の改修も前年の7月に終了し、新病院建設事業も無事終わることができ、これにより渭北地域における医療・介護と健康づくり・町づくりの拠点が無事整備できました。引き続き地域の方々や組合員の「いのち」と「健康」を守り続ける拠点として、活動して行ければと思います。

新しい健生病院では、一部別館(旧東館)に医療療養型病棟の機能を残しつつ、新病院では広く快適になった病床で、入院が必要な急病の治療や内科疾患、最新の手術室での外科、整形外科、眼科の手術を行います。

一方で、専門特化した治療(骨粗鬆症外来や便秘外来など)とともに、療養やリハビリにも力を入れ、安心して療養できるような機能も果たしていきます。

脳卒中や骨折などで手厚いリハビリが必要な方には、パワーアップした回復期リハビリ病棟で集中的なリハビリを行います。さらに、長期の療養が必要な方には、新たに別館(旧東館)に療養型ベッドも備え、広く快適な環境での療養を行えるようにします。このような多機能型の病院になることで、組合員のみなさま、地域住民のみなさまの命と健康を守り、切れ目のない医療・介護の提供をより強化していきます。



【徳島健生病院】

また、病院機能とともに、職員の医療・福祉・介護活動や、地域での組合員さんの保健予防活動・まちづくりの活動をとおして、「地域になくはない健康生協」を強く大きくしていきます。新型コロナウイルス感染拡大や、南海・東南海地震への対応も施設として充実し、安心して住み続けられるまちづくりを進め、生協組織の強みを生かし、県・市・地域包括支援センター・社会福祉協議会・町内会などの協同をいっそう強めていきます。

本年もよろしくお願いいたします。

理事長 児嶋誠一